



平成 23 年 8 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 やまびこ
代表者名 代表取締役社長 永尾 慶昭
(コード 6250 東証第一部)
問合せ先 総務部長 西 正信
(TEL 0428-32-6111)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 24 年 3 月期を初年度とする 3 ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要についてお知らせします。

やまびこグループは、平成 20 年 12 月に旧株式会社共立と旧新ダイワ工業株式会社の経営統合にて発足しましたが、直前に発生したリーマンショックによる世界的な景気後退や急激な円高の進行などの影響によって、2 期連続で大幅な赤字を余儀なくされました。そのため、第 3 期にあたる平成 23 年 3 月期の黒字化は絶対命題との認識で、「緊急構造改革プロジェクト」を立ち上げ、グループをあげて経営統合シナジーの早期化のための活動を中心に拡販や製造コストの低減、また、あらゆる項目での経費削減などに取り組みました。その結果、第 3 期中も円高が更に進行しましたが業績回復を果たすことができました。

今後も、円高の長期化や市場における価格競争の激化が進むなど、引き続き当社グループを取巻く経営環境は厳しいと想定されますが、平成 26 年 3 月期までの 3 ヶ年を、環境の変化に着実に対応しながら、統合シナジーの最大化を完結させて着実な成長を果たすとともに、次なる成長フェイズに向けた体制整備期間と位置付けた中期経営計画を策定しました。

1. 中期経営方針

当社グループは、引き続きより強い利益体質を構築するとともに、企業規模拡大により経営基盤の強化を図り、事業の継続的発展をより確実にする国際競争力を高めます。そのためグループ最大の事業である小型屋外作業機械分野で旧共立と旧新ダイワ工業との経営統合シナジーを最大限に発揮させ、世界市場において高い占有率を誇る欧州メーカー 2 社に次ぐ地位の確立を目指します。

更に、大型防除機を主力とする農業用管理機械分野および発電機、溶接機を主力とする一般産業用機械分野の事業を拡大し、小型屋外作業機械分野に続く第 2、第 3 の主力事業として育成します。

2. 中期経営計画における重点課題

上記経営方針の下、以下の重点課題に取り組んでまいります。

- (1) 「ECHO」、「shindaiwa」および「KIORITZ」の 3 つのブランド力を最大限に活かしながら、各ブランドの位置づけを明確にし、それぞれの特徴を有効に活用した、よりグローバルなマーケティング戦略を展開して事業の拡大と効率化を図ります。

- (2) 小型エンジン製品の開発・製造技術、防除機関連技術および発電体応用技術などの優れた固有技術を進化または融合させ、併せて将来に向けた先行開発も進め、開発投資と製品化期間を抑えながら、多様化する市場に向けて市場競争力のある製品ラインアップの拡充を図ります。
- (3) 国内外の生産基地および資材調達ネットワークを有機的に結合させ、最大限に活用することにより製品品質と生産力の向上、および物流の効率化も含めた原価低減を図ります。
- (4) あらゆる管理業務についてグループとしての全体最適を求めた見直しを行い、効率化を図るとともに、人材や情報システムなどの経営資源の充実とリスク管理体制の拡充を図ります。
- (5) 市場や業界の動向なども含めた環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、事業の再編や拡大にも機動的に取り組み、より強固な財務体質と安定した収益基盤の構築を図ります。

3. 計画数値

(百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
売 上 高	85,000	87,000	92,000
営 業 利 益	2,300	2,400	3,500
当 期 純 利 益	1,400	1,600	2,000

<前提となる通期の輸出為替レート>

(円)

U S D	80	80	80
E U R	115	110	110

(注) 本計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがあります。

以 上